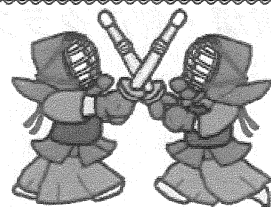


# あまけんれん

平成27年1月発行

発行者：泉 眞喜夫



## 新年を迎えて 天草剣道連盟会長 福本康博

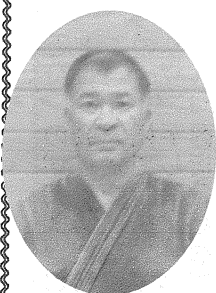
昨年、多くの各種大会等が開催できたのは、剣道連盟会員各位、特に事務局の先生方の多大なご協力によるものと感謝しております。

大会等を観戦して、試合中の打突時に、何と言っているのか分からない発声をする選手が多いことが気になりました。指導者の方々には、「メン」「コテ」「ドウ」とはっきりと発声できるようにご指導をお願いします。有効打突の条件である「充実した氣勢」で一本を決めるためには発声が重要です。発声は、相手を威圧すると共に自分の気持ちを奮い立たせる効果があります。私は、腹からにじみ出るような発声と打突時に誰が聞いても判る発声を心がけています。

今年度も天草剣道連盟の発展のために、会員の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 祝 昇段 本多七段(栖本支部) 北原七段(本渡支部) 吉田六段(河浦支部)

1月に東京で行われました全日本剣道連盟の昇段審査において、上記の方が見事合格されました。おめでとうございます。七段に合格されましたお二人のメッセージを紹介します。



1月26日に日本武道館で開催されました昇段審査で七段に合格することができました。西山先生を始め、天草剣道連盟の先生方、天草市役所剣道部の皆さん、栖本少年剣道クラブ青志会の子どもたちや保護者の皆さんのおかげだと深く感謝申し上げます。

私は、栖本中学校1年生から剣道を始めました。先輩方から、徹底的に基本をたたき込まれました。その後、学生時代、社会人として故郷を離れていましたが、昭和56年に帰郷し、同時に栖本少年剣道クラブ青志会の指導者に迎えていただきました。平成6年に大病を患いましたが、幸いにまた剣道を再開することができ、子どもたちと共に汗を流して稽古に励んできました。平成20年に六段に合格し、本年8月に七段の受験資格を得ましたので、福岡での昇段審査に挑戦しましたが、あ

**本多徹也七段** えなく不合格でした。次の審査を目指して、基本を見つめ直し、時間を見つけてできるだけ武道館へ通って先生方からアドバイスをいただきながら稽古に励んできました。今回、先生方からアドバイスされた「下がないこと」を心がけた結果合格することができました。

今後は、七段に恥じないような剣道を目指し、精進していく覚悟ですので、今後も皆様のご指導をよろしくお願いします。



この度、七段審査において、初めての挑戦でしたが、幸運にも合格させていただくことができました。これも、偏にこれまでご指導いただいた先生方を始め、仲間、後輩、家族のおかげであると心から感謝しています。

私は、昨年春から天草警察署に勤務しています。刑事という仕事柄、なかなか稽古時間が確保できない状況にありますが、普段の仕事において、剣道と関連づけて考える等、自分自身の気持ちを充実させるように心がけました。

**北原孝一七段** 私が、審査を受けるにあたり、意識したことは至ってシンプルで、「攻めることで生まれる打突の機会を、確実に有効打突にすること」でした。立ち会いにおいては、自分の攻めが効いていることを感じ、良い機会を捉えることが出来たと実感しています。

これからも、感謝の気持ちを忘れず、精進したいと思います。

称号審査で、教士に野崎純一七段(五和支部)、錬士に長田希望六段(荅北支部)が合格されました。

【秋季剣道大会試合結果】 期日：平成26年11月2日(日) 場所：天草市総合武道館剣道場

○小学4年以下の部

優勝：姫戸少年剣道クラブ 2位：楠浦剣友会A 3位：天武館A、東勝館

○小学5・6年の部

優勝：有明剣道クラブ 2位：天武館 3位：二江光声会、河浦剣道クラブA

○中学校の部

優勝：有明中学校 2位：栖本中学校 3位：牛深中学校A、本渡中学校

○高校生男子の部(個人戦)

優勝：大平大貴(河浦) 2位：坂本拓海(天草) 3位：中鋪郁哉(河浦)、浦上幸大(天工)

○高校生女子の部(個人戦)

優勝：江上佳奈(天工) 2位：中村葉菜(天工) 3位：松永唯衣(天工)、平野里佳(河浦)